

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

Table with columns for 事務事業名 (がん検診事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (020102000334), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名), 財務会計上の位置付け (予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細), 事業期間 (単年度繰返し), and 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about cancer screening goals and procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for screening days, participants, and costs.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs for 27, 28, 29, 30, and 31 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計 (A), and 人件費.

Table comparing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円) across categories like 11 需用費, 12 役務費, and 13 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 29, 30, and 31 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, and 合併建設計画事業.

事務事業名	がん検診事業	事務事業No.	20102000334	所属課	健康推進課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
がんを早期に見出し治療することにより、がんによる死亡者の減少および医療費を削減する。乳・子宮がん検診においては、がん発症の多い年齢の女性に対して無料クーポン券を発行し、受診につなげる「女性特有のがん検診推進事業」が平成21年度に開始。平成23年度からは「働く世代への大腸がん検診推進事業」が新規で加わる。H28より無料クーポン配布は乳がん・子宮がん検診に限定され、「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」に名称変更。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
該当年齢以外の方から受診の要望がある。 医療機関で受診したいという要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> 検診や無料クーポン券のPRを行う。 一定の年齢の方への検診通知。 受診機会を拡充する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 総合計画で掲げる「健康づくりの推進」に結びつく事業であり、がんの早期発見の為、誰もが受診できる体制をつくり、整備につとめている。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 健康増進法・感染症法に基づいて実施している。がん予防に関する知識の普及および疾病の早期発見・治療が遅れることにより、周囲への感染拡大の可能性もある。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 受診者数やクーポン券の利用率が減少している。受診者数を増やす方策として、PR活動（HP、広報活用、健康推進員の活用）、検診日程の検討（もれ者健診や休日検診の実施）、医療機関受診の検討を行い、受診しやすい環境づくりを行う。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 がん発見が遅れることで、医療費が高額となることが考えられる。また、結核の早期発見・治療が遅れることにより、周囲への感染拡大の可能性もある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 同日にいくつかの検診を併せて実施しており、これ以上の統廃合はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 医療機関での健診もあるが、1人あたりの検診料金が集団検診よりも高額となる。郵便料も割引適用しており、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 健康カレンダー、広報、HP、他の事業（さらさら健康講座や乳幼児健診など）を通じて周知。申し込みも随時。検診対象者には個別通知をしている。受診者の利便性を考慮し、どの地区でも受診可能としているので、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	受診者数および受診率は減少傾向にあり、受診者数の増加と受診率の向上を図る取り組みを検討していく必要がある。また、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の利用率も伸び悩んでいる状況である。集団検診終了後に対象者で未受診者には、再勧奨の通知を送付したところ受診希望者が増え、医療機関検診の県西総合病院への予約がとりにくくなった。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
受診率が低いことが課題である。その解決策として、乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン券の配布のほか、次年度より胃がん・肺がん・大腸がん検診等を無料で受診できるクーポン券を新40歳に配布する。 また、乳がん・子宮頸がん検診の医療機関検診について、つくば総合健診センター（筑波メディカルセンター）を追加し、受診機会を拡充する。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>